

# かわねほんちょう 議会だより

第56号

令和元年11月発行

発行 / 川根本町議会  
編集 / 議会広報委員会



## 本川根小・本川根中 合同体育大会

9月7日 本小グラウンド



住民も楽しく参加

新正副議長・議会構成が決まりました …	2～3
平成30年度一般会計・特別会計決算を認定 …	4～5
決算特別委員会の審査報告 ……………	6～7
議員現地調査報告・第2常任委員会審査報告 …	8
9月議会で決まったこと ……………	9
5人の議員が町政を問う ……………	10～15
議員視察 大間ダム(寸又峡)・編集後記 …	16



# 新しい町議会の構成が決まりました



令和元年第1回川根本町議会臨時議会（10月21日）が開催され、正副議長、各委員会の委員も決まりました。

## 議長あいさつ

川根本町議会議長

藺田 靖邦



この度の改選で川根本町議会議長に選任いただきました、藺田靖邦です。改めてその責任の重さに身の引き締まる思いです。川根本町議会議員は、川根本町民の負託を受け町民の代表として議場に立っています。私は、これからも町民の代弁者として議会議員に求められている大切な役割を果たすため議会の本質とは何かを常に念頭に置きながら誠心誠意尽くしていく所存です。この自然豊かな人間味あふれる川根本町を誇りに私たち議員は町民の皆さんと共に考え一丸となって議会運営を遂行していきます。

今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 副議長あいさつ

川根本町議会副議長

中野 暉



副議長に就任しまして、まずもって責任の重大さを痛感している次第でございます。地方自治の原則である二元代表制において、議会と行政は協調とけん制により責任を分担し、緊張感ある『一步離れ、二歩離れるな』の姿勢を保ち、一体となった「まちづくり」ができるよう、この二年間を頑張ることを決意しました。

副議長は、議長を補佐する職ではなく、議長を代理する職であることを念頭に置き、議長の驥尾につき、議会が円滑に運営できるように、誠心誠意努力する所存でございます。今後とも皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

## 町長あいさつ

リニア中央新幹線建設、これからの教育の在り方、移住定住に関する取組み、医療福祉など、町民の皆さんの関心事が増えていると感じているところでございます。

加えて、現下の課題解決だけでなく、将来を見据えた継続可能な行政運営も求められておりますので、住民の代表であります議員の皆様とますます議論を深めていく所存です。一層の力を添えを頂戴したく存じます。

川根本町長 鈴木 敏夫

本臨時議会では議会構成のほか工事請負契約1件、補正予算1件が町長から提出された。質疑後の討論はなく、2議案とも原案通り可決された。

### 工事請負契約

◎工事請負契約の  
締結について

令和元年度 森林環境  
保全整備事業  
林道寸又線改良工事  
…全員賛成で可決

《契約先》

(株)神田組

《請負金額》

6,435万円

《工期》

令和2年3月24日まで

### 補正予算

◎令和元年川根本町  
一般会計予算

…全員賛成で可決  
《補正後の額》  
67億369万2千円  
(890万円の増額)

地域医療推進費、本  
川根診療所の再開に伴  
う修繕料、清掃費、機  
械器具購入費等の増額

# 新しい委員会構成

10月21日臨時議会で決まりました。



## 第1常任委員会

総務課、企画課、情報政策課、税務住民課、くらし環境課、健康福祉課及び高齢者福祉課の所管に属する事項



## 第2常任委員会

農林課、建設課、観光商工課、教育総務課及び社会教育課の所管に属する事項



## 議会運営委員会

議会を円滑に進めるための、議会運営に関する事項、議長の諮問に関する事項等



## 広報委員会

議会広報紙の編集及び発行、その他議会の広報に関する事項



# ● 特別会計決算を認定

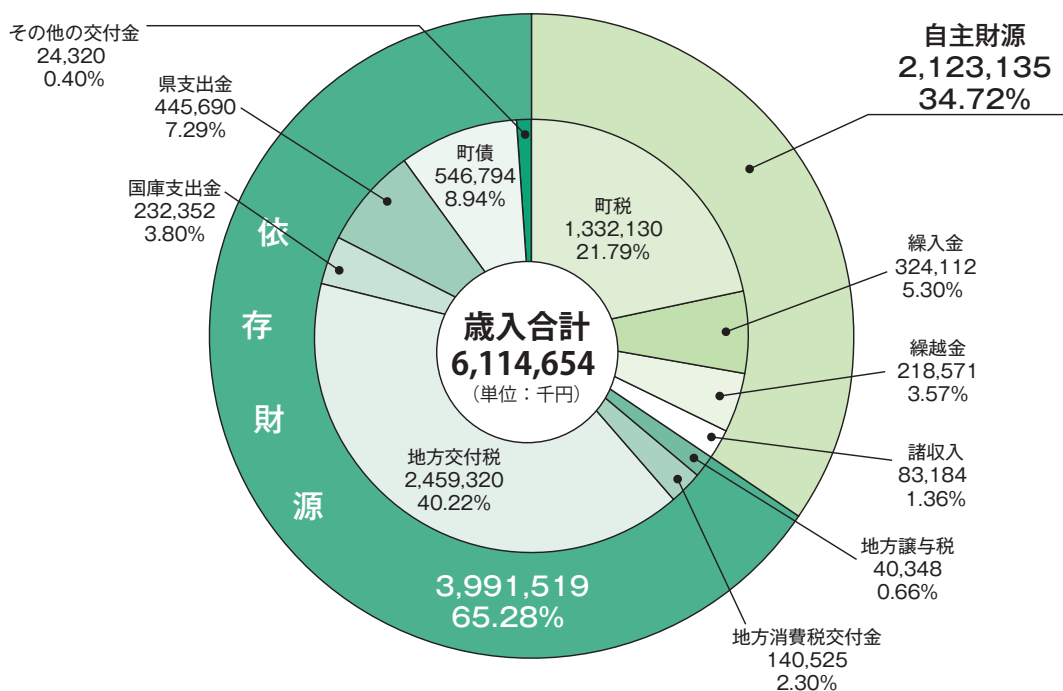
- ▶ 決算審査は、議員が事前に抽出した一般会計の42の事業を中心に、事業実績や状況などの詳細説明を担当課から受け、委員から多くの質疑や意見が出され活発な決算審査が行われました。
- ▶ 委員会最終日の9月18日には、現地調査を行った後に委員会採決を行いました。
- ▶ 9月27日の定例会最終日には、決算認定議案8件と議案32号の採決を行い、認定しました。

## ☆ 5年間の町税の推移

(単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
町 民 税	294,537	302,116	310,847	284,124	305,575
固 定 資 産 税	1,034,079	1,001,914	981,481	982,780	969,343
軽 自 動 車 税	21,594	21,924	25,954	26,363	26,932
町 た ば こ 税	31,391	30,231	28,047	26,217	24,893
入 湯 税	5,339	5,545	5,384	5,538	5,387
歳 入 合 計	1,386,940	1,361,730	1,351,713	1,325,022	1,332,130

## 【平成30年度決算】 一般会計歳入の内訳



## ☆ 特別会計歳入歳出決算額

(単位：千円)

	年度	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	簡易水道	温泉事業	訪問看護	いやしの里診療所
歳 入 決算額	29年度	1,061,012	119,433	1,279,185	187,489	14,638	—	47,942
	30年度	835,005	123,400	1,267,741	210,173	15,437	14,541	50,440
歳 出 決算額	29年度	997,591	119,312	1,236,440	182,255	14,534	—	47,864
	30年度	806,646	123,085	1,241,556	205,555	15,437	14,415	50,314
繰越額	29年度	63,420	121	42,745	5,234	104	—	78
	30年度	28,359	315	26,185	4,618	0	126	125
30年度当初予算額		874,298	129,850	1,331,347	218,680	16,666	16,067	55,383



# 平成30年度 一般会計

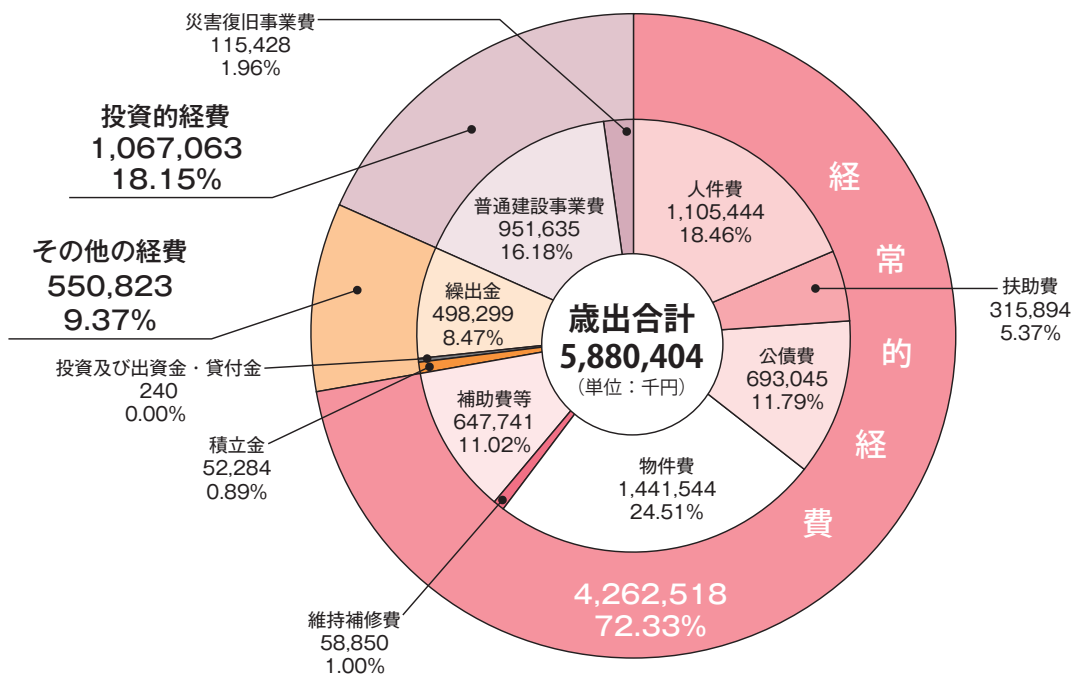
▶ 9月議会定例会では、平成30年度の一般会計及び7事業の特別会計を決算特別委員会で審査しました。議案32号（川根本町地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の制定について）を、第2常任委員会に審査を付託し、9月3日から18日までの間の5日間にわたり審査を行いました。

## ☆ 5年間の基金残高と起債残高の推移

(単位：千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
財政調整基金残高	1,681,802	1,684,681	1,687,754	1,190,663	914,339
減債基金残高	94,074	94,094	94,098	87,685	81,356
国民健康保険給付等支払準備基金残高	96,958	110,879	124,792	126,702	144,655
簡易水道基金残高	41,794	24,518	16,475	16,408	13,756
温泉事業基金	9,961	9,964	9,965	9,966	9,967
起債残高	5,302,364	5,928,466	5,762,955	5,667,062	5,551,261

## 【平成30年度決算】 一般会計歳出の内訳



広報委員会の

## 決算における 着目点

- 財政調整基金の平成30年度末現在高は9億1千万円である。平成29年度に5億円使用したが、30年度は2億8千万円と約半分に使用を押し控えている状況である。今年度、財政調整基金をどれだけ使用するかは、議員としても関心の高いところである。
- 29年度～30年度における目的別決算額であるが、前年対比で見ると教育費は生徒数が減少する中で、29年度11%増、30年度17%増と、他の支出項目に比べて支出が急増しているが、この点については広報委員会でも関心を持っている。



《審査日》令和元年9月3日・5日・9日・13日・18日

# 平成30年度一般会計、特別会計などを原案のとおり認定しました。



## 決算の内容等について慎重に審議

しているか。

**答** 実施計画、実施報告書の提出により把握している。

### ○健康福祉課

**問** 耐震貯水槽2基の工事費の違いは。

**答** 容量は同じだが、設置場所の状況で、付帯工事に差が出るため。

### ○健康福祉課

#### 社会福祉総務費

**問** 民生委員・児童委員関係

**問** 民生委員が未設置地区の状況は。

**答** 接岨、下長尾、藤川地区が未設置である。区長にお願いして対応している。

### 予防費

**問** インフルエンザワクチン接種委託料の算出の仕方は。

**答** 過去のデータに基づき接種人数を算出している。

### ○教育総務課

#### 地域若者教育推進費

**問** (川根高校男子寮よすが苑運営費)

**問** よすが苑建物の今後の賃借料についてはどう考えるか。

**答** 2年契約が今年度で切れる。今後については現在協議中である。

### ○企画課

**問** 消費税が上がることににより、給食費の値上げもあるのか。

**答** 消費税が上がることを理由とした値上げは考えていない。

**問** 消費税が上がることを理由とした値上げは考えていない。

**問** 消費税が上がることを理由とした値上げは考えていない。

**問** 消費税が上がることを理由とした値上げは考えていない。

**問** 消費税が上がることを理由とした値上げは考えていない。

### ○社会教育課

#### 社会教育総務費

**問** (資料館やまびこ運営管理)

**問** 人材の確保を含め、「やまびこ」の運営をどう考えるか。

**答** 情報発信、環境学習の拠点施設としての活用方法を、社会教育施設運営委員会等に諮りながら検討したい。

情報は持っている。

### ○高齢者福祉課

#### 高齢者福祉費

**問** (在宅高齢者等配食サービス事業)

**問** 配食サービスの事業の栄養士の経費はどうなっているか。

**答** 地域包括支援センターに1名配置されている管理栄養士(役職員)が担っている。

**問** ケアプランの被保険者負担はどうなっているか。

**答** 今のところ負担はない。現在国が検討しているところである。

### ○建設課

#### 河川総務費

**問** (河川海岸環境整備事業負担金)

**問** 負担金は何の負担金か。

**答** 梅高地区の温泉スタンド上流側の公園整備に係る工事負担金である。

### ○一般会計

…全員賛成

### ○総務課

#### 災害対策費

(避難所対策事業)

**問** 各地区で行われる防災訓練の状況は把握



資料館やまびこ





梅高地区公園予定地

**環境衛生費**

**問** 食用油を再生したディーゼル燃料は現在も使用しているか。

**答** 以前、ごみ収集車に使用した際に不具合が生じた経緯があり、現在は使用していない。

**ダム水源地域振興費**

**問** (接岨峡温泉会館管理運営費)

**問** 地元からの雇用状況は。

**答** 現在1名である。

**農林課**

**地域農政総合推進事業費**

**会計課**

**基金管理費**

**問** 赤石太鼓運営基金とは何か。

**答** 合併前からあるもので、継承したものである。備品購入、更新費用などに充てるための基金である。財政的基盤確保、円滑な運営を図ることを目的としている。

**観光商工課**

**音戯の郷運営費**

**音戯の郷施設運営一般**

**問** 入館者数の町内、町外の割合は。

**答** 町内が5パーセント程度で、残りは町外者と考える。



瀬平地区オリーブ植栽地

**林業振興費**

**問** (林業関係事業費補助金) 防護柵は何に對するものか。

**答** シカ対策であり、植林とセットである。

**情報政策課**

**情報政策費**

**問** (地域情報化の推進) 30年度光ケーブルの修繕料が多い理由は。

**答** 台風24号の被災対応が大部分である。

**問** 住宅退去者のかねフォン機材はどうしているか。

**答** 端末器は引き上げている。住宅解体時の撤去費用は利用者負担を求めている。

**税務住民課**

**賦課徴収費**

**問** 町民税が増収となっているが、その主要因は。

**答** 法人町民税の増収によるものである。

**国民健康保健事業特別会計**

…全員賛成

**後期高齢者医療事業特別会計**

…全員賛成

**介護保険事業特別会計**

…全員賛成

**簡易水道事業特別会計**

…全員賛成

**温泉事業特別会計**

…全員賛成

**訪問看護事業特別会計**

…全員賛成

**ごやしの里診療所事業特別会計**

…全員賛成

**まとめ**

決算特別委員会では、5日間にわたり担当課長、職員に出席頂き説明を受けました。

委員からは、活発な質疑、意見などが出され、町長をはじめ、課長、職員から回答をいただきました。

連日熱心に審査に臨んでいただいた委員の皆様、また、丁寧に対応いただいた職員の皆様に感謝申し上げます。

この審査が来年度の予算編成に反映されることを期待します。

決算特別委員長  
坂本政司

18日には、現地調査を行いました。  
次ページで報告します。



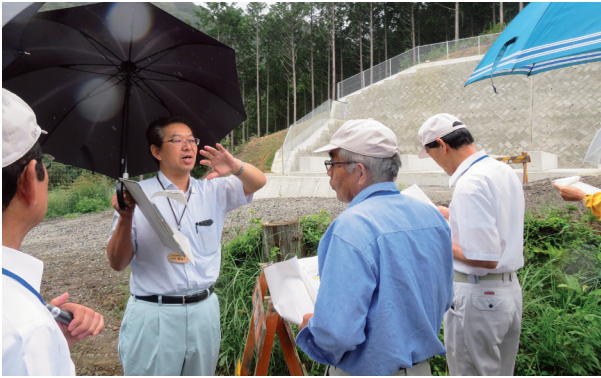
現地調査を実施しました  
9月18日



移住定住事業 空き家バンク登録物件



荒廃農地等利活用促進事業



本川根南部簡易水道



桑野山貯木場 木の駅かわね事業(まき割り機)

## 第2 常任委員会審査報告

審査日 令和元年9月17日

川根本町地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例について

この条例は、「地域未来投資促進法」に基づき、「地域経済牽引事業」を実施する事業者に対し、3年度分の固定資産税の課税を免除することにより、企業誘致の促進と地域経済の活性化を図るためのもの。

**問** 促進地域は川根本町全域か。

**答** 促進地域は、静岡県全域、川根本町全域である。県が事業計画を承認した場合に該当する。

**問** 計画の申請については、各企業の判断となる。

**答** 県が示す基準のポイントはなにか。

**問** 雇用の創出ができること。関連事業者への波及効果などである。

**答** 町内においても、活性化の一つとなると考える。当町で固定資産税を免除しようとする理由は何か。

**問** 町内への立地を検討する事業者へのセー

**答** ルスポイントとなるほか、町内の既存事業者による事業拡大及び新規展開への支援策、雇用の創出や商工業振興の一助となる

**問** ことが期待されるため。大規模な事業が該当要件と考えてよいか。

**問** 取得価格の合計が、1億円、農林水産関係は5千万円を超えるものが該当する。

**答** 3年間は固定資産税が減少となるが、4年目からは通常どおりに入ってくるので、町の負担は限定的と考えてよいか。

**問** 免除分の固定資産税は、4分の3が地方交付税で補てんされる。

**答** 4分の1は減収となるが、雇用等が増えることにより商工業の発展にもつながると考える。

**問** 29年度以降、県内で条例を制定した市町はあるのか。

**答** 県内の市町で条例の制定をしたところはない。当町が初めてとなる。

**問** 質疑の後討論はなく、起立多数により可決しました。

第二常任委員長

坂本政司



# 9月議会でも決まったこと

(平成30年度決算認定議案を除く)

初日に上程された議案16件(同意1件・議案15件)は、速報版でお知らせしたとおり、定例会2日目(9月12日)に全員賛成で可決した。

最終日の27日には5人が一般質問を行った。また、議員発議の意見書(地震財特法の延長について)1件も全員賛成で可決した。

第二常任委員会で審査した「川根本町地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の制定について」も全員賛成で可決した。

30年度決算は、委員長の報告後、全員賛成で原案のとおり認定した(6~7ページ参照)。

・軽自動車税の税率規定の見直しやグリーン化特例措置に関する改正。

・費税率の改正。

○川根本町印鑑条例の一部を改正する条例

・印鑑証明に旧姓の記載を行うための改正。

○川根本町流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例について

・消費税の課税対象となる占用料に係る消費税率の改正。

○川根本町営バス条例の一部を改正する条例について

・消費税改正に伴う町営バス寸又峡線の普通運賃の改正。

○川根本町普通河川条例の一部を改正する条例について

・消費税の課税対象となる占用料に係る消費税率の改正。

○川根本町いやしり診療所条例の一部を改正する条例について

・診療報酬を国の改定基準に適合させる。診療所の使用料及び手数料に係る消費税率を改正。

○川根本町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について

・消費税の改正に伴い、水道料金を改正する。

○川根本町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

・消防団の欠格条項を改正する。

## 補正予算

○令和元年度川根本町一般会計補正予算

(第2号)

・奥大井湖上駅駐車場整備、情報基盤修繕費、下泉原地区農地換地計画作成負担金、林道寸又峡改良工事などの追加、幼児教育等無償化に関連する補正など。1億1,948万9千円を追加。

・布設替工事の追加。190万3千円を追加。

○令和元年度川根本町訪問介護事業特別会計補正予算(第1号)

・平成30年度決算に係る剰余金を計上し、同額を一般会計繰入金から減額する。

○令和元年度川根本町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

・遠隔診療対応科目を増やしていくための経費、患者数増加に伴う医薬材料費等の追加。390万円を追加。

## 条例制定

議案16件(全員賛成)

○川根本町地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

・地域未来投資促進法に基づき、企業誘致の促進と地域経済の活性化を目的として、3年間の固定資産税の課税免除を行う。

## 条例の一部改正

○川根本町税条例の一部を改正する条例

・消費税の課税対象となる占用料に係る消

○川根本町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例について

・消費税率の改正に伴う町営バス寸又峡線の普通運賃の改正。

○令和元年度川根本町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

・林道寸又峡線改良工事起因する導水管

## その他

○町道路線の認定に関する議決議案の訂正について

・第1回定例会にて議決した町道路線の起点終点の訂正。

# 一般質問

質問の概要を発言順に掲載します

- |       |   |
|-------|---|
| 11ページ | 杉山 広充 議員<br>教育行政に関して・保護者の声の吸い上げ・学校の再編について   |
| 12ページ | 山本 信之 議員<br>自治体財政状況について                     |
| 13ページ | 中原 緑 議員<br>子育て世代の定住化<br>川根高校関連における経費について    |
| 14ページ | 野口 直次 議員<br>農家の経営支援に行政ができることは<br>小学校の就学について |
| 15ページ | 石山喜美夫 議員<br>リニア新幹線工事<br>町の防災対策と医療関連について     |

5人の議員が町政を問う！  
9月定例会最終日に一般質問を行いました

## あの一般質問 どうなったかやあ～

平成30年3月定例会 質問者：杉山広充 議員

**Q. 現在、接岨地区に6人、大間地区に2人の子供が生活している。保護者の思いに耳を傾け、将来、川根高校に行き奥流に入りたいという生徒のために、条例の改正または規約等をつくり、奥流入寮の門戸を開いたらどうか。**

A. 奥流の条例の中に原則的には、川根留学生という限定があるが、その他、教育委員会が、特に必要と認めた者という条項もあるので、その中で状況に応じて対応したいと考える。

### 現 状

連携中学校から川根高校に入学した生徒について、大間地区、接岨地区、笹間地区など、自宅から高校への通学が困難と認められる生徒に対し、寄宿舎や下宿を提供することにより、生徒及び保護者の負担を軽減させる支援を行っています。

この運用については、平成30年度の入学者から対応しており、現在、2年生1名、1年生1名が、南麓寮において川根留学生と共に生活しています。



川根高校南麓寮



# 問

## 小、中学校の統合について、保護者の声の吸い上げを

# 答

### 仮称「これからの川根本町の教育に係る意見交換会」を開催する

#### 質問

平成29年10月から、2年間、「保護者代表の教育委員1名」が不在である。

行政当局は、昨年9

月・今年3月議会で早期に対応すると答弁した。どうなっているのか。

#### 町長

現在、保護者代表の委員は欠員である。教育委員の職務や服務内容から、人

選に苦慮している。今年度中には、人選できるように努力したい。

#### 質問

本町の小・中全体の保護者（父親・母親）は、300人以上いると推測する。

この中にふさわしい人が、必ずいると考える。

#### 教育総務課長

議員が言ったとおりと思う。委員を人選できるように努力したい。

#### 質問

今年3月議会で、小学校、中学校の統合・再編について、保・幼・小・中学校の保護者の思い、本音を吸い上げて欲しいとお

願った。行政当局は、「学校のあり方協議会の中で検討していく」と答弁した。その後、保護者の声を吸い上げる努力、方策を講じたのか。

#### 町長

昨年7月「川根本町立学校設置適正化及びあり方検討委員会」を立ち上げ、

#### 教育総務課長

現在、調査、研究、協議している。昨年年度、協議会を2回、研究会を5回開催した。今年度中に一定の方向性を示すことができるよう

対応している。仮称「これからの川根本町の教育に係る意見交換会」を10月から11月ぐ

らいに開催できるように準備している。

#### 質問

本町では、ここ1年間に生まれ

た子どもは十数人。小学校においては、教務主任と学級担任の兼務、複式学級担任が生じて

いる。また、小・中学校校舎の老朽化、学校管理費と教育振興費の

#### 教育

現行制度や多様な小中一貫教育制度を踏まえ、児童生徒に次世代に必要な資質、能力を育成すべき、本町の教育制度を検討、構築し、次に、教育制度を実現するための学校の施設形態を考

えるべきだと思ふ。学校再編においては、「子ども同士の関わり」である。子ども同士が直接的に関わり、一人一人が自分の考えを出し合い、比べ合い、練り合い高め合うこと、これが学びだと考える。

本町では、「施設一体型の義務教育学校」

#### 教育

に、思いや意見が収斂されていくように思う。このことについて伺う。学校の統廃合を含めた方針は、教育委員会、総合教育会議の中で決めなければならぬことだと思

う。



杉山広充 議員



中川根中学校



中川根第一小学校

# 一般質問



山本信之 議員

## 問

### 自治体財政状況について

## 答 積極的に対応する

### 質問

財政調整基金は3年間で10億8,000万円の取り崩しがあつた。16億8,000万円あつた基金は、残高5億9,000万円である。財源は、どこにあるのか。

### 町長

当然のことながら、危機感を抱いている。

次年度以降の予算編成においても、減少する歳入に見合った予算編成、いわゆる身の丈

にに応じた予算編成を行っていく。基金の取り崩しの抑制をしていくことが必要と考えている。

### 質問

実質単年度収支5年間で9億4,000万円の赤字が続いている。町にとっては、大変問題がある状況である。早急に解消することが求められると思うが、

### 総務課長

財政調整基金の取り崩しの影響が、実質単年度収支に

如実に表れているという事、これもまた、事実である。今後は、財政調整基金の取り崩しに頼らない、実質単年度収支の赤字の現状について、大きな心配

### 質問

去年9月に財政計画について、町長は「今後は向こう5年間程度の短期スパンにおける、財政運営に臨んでいく考えであ

### 総務課長

財政計画は、令和2年度の11月、ほぼ1年先では、そこを目標に、そこからの短期スパン5年間のうちの財政計画をお示しする。その予算編成の際には、今後、大きく

かわる変動要因がここ1年の中で、多々あるので、それを見据えた



川根本町役場本庁舎

中で要因を分析し、財政計画という形で示したいと考えている。

### 質問

各事業の圧縮、各施設の在り方について、私も農協で計画・実行・評価・改善をやってきた。職員

### 総務課長

PDCAサイクルを絶えず推進していききたい。また、今後どうするかという形で取り組んでいる。行政運営においても、PDCA手法については、町民の皆様の期待以上に職員も努力をしていききたいと思つてい



# 問

## 川根高校 “未来への投資” の効果は。

# 答

## 効果は必ず出てくる。経費節減でも対応。



中原 緑 議員

**質問** 子育て世代を対象にしたニーズ調査で多かった要望を、どうとらえ、対応するのか。

**健康福祉課長** 約半数の方々から、児童館や公園などの遊び場の拡充の希望があった。公園整備も施策の一つと考えられるが、既存しているフィールドを活用し、様々な事業の中で子育て世代への交流の場、学びの場を提供したい。

**建設課長** 事業主体は県、町は事業費の2分の1を負担。「芝生広場」、「駐車場」、「広場を周遊する道」、「水路」などの整備が計画されている。

**建設課長** その公園に、子育て世代が喜ぶ本格的な特色のある遊具や、町民の休憩スペースを設置することはできないか。

**建設課長** 公園は、河川区域内であり、遊具設置は県（河川管理者）の許可が必要で、洪水などの災害防止機能からすれば、設置は難しい。固定しないものでも県の許可が必要。

**建設課長** 多子世帯の保育料が、島田市、焼津市、牧之原市では、上の子の年齢に関係なく、第2子は半額、第3子は無料。本町では3人とも未就学児であることが条件。定住化促進のために規則の見直しの検討はどうか。

**町長** 当町の保育料は国で定めた上限の約6割程度であり、適当と考える。今後は、保育所運営委員会の意見を聞いた後に、保育料等を決定していく。

**質問** 若者交流センター等の寮3か所と公営塾の本年度予算は1億5,157万2千円になった。川根高校に關わる増え続ける財政について、どのように考えているか。

**町長** 川根高校の存在が増えれば増えるほど「第二のふるさと」とは川根本町だ。」という地元愛が芽生え、もつともつと展開が広がる。そこを理解しないと、この議論はかみ合わない。

**教育総務課長** 適正な寮費負担の検討と併せ、経費の節減で対応する。

**教育総務課長** 経費節減において、具体的などのような工夫をするのか。伸び続けると推測する。未来への投資の効果は、あらわれているか。川根高校による経済効果と、町の負担額、分岐点はいくらか。

**教育総務課長** 全体の経費を見ながら削減する。現状として、目に見える効果はないが、本町の良さを理解し、支援していただくような対応を検討する。

**町長** 投資効果は必ず出てくる。人に投資している。留学生が増えれば増えるほど「第二のふるさと」とは川根本町だ。」という地元愛が芽生え、もつともつと展開が広がる。そこを理解しないと、この議論はかみ合わない。

**教育総務課長** 保護者や学校等とも相談しながら検討する。

**町長** 投資効果は必ず出てくる。人に投資している。留学生が増えれば増えるほど「第二のふるさと」とは川根本町だ。」という地元愛が芽生え、もつともつと展開が広がる。そこを理解しないと、この議論はかみ合わない。

**教育総務課長** 保護者や学校等とも相談しながら検討する。

**町長** 投資効果は必ず出てくる。人に投資している。留学生が増えれば増えるほど「第二のふるさと」とは川根本町だ。」という地元愛が芽生え、もつともつと展開が広がる。そこを理解しないと、この議論はかみ合わない。

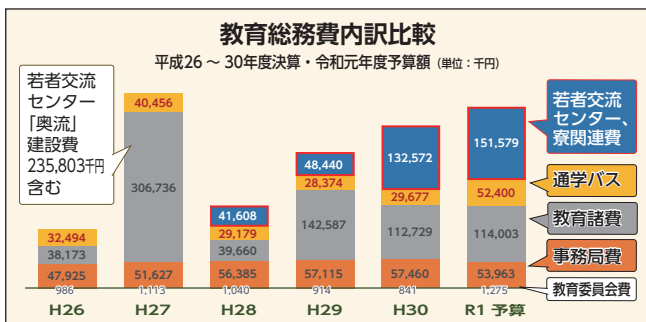
**教育総務課長** 保護者や学校等とも相談しながら検討する。

**町長** 投資効果は必ず出てくる。人に投資している。留学生が増えれば増えるほど「第二のふるさと」とは川根本町だ。」という地元愛が芽生え、もつともつと展開が広がる。そこを理解しないと、この議論はかみ合わない。

**教育総務課長** 保護者や学校等とも相談しながら検討する。

**町長** 投資効果は必ず出てくる。人に投資している。留学生が増えれば増えるほど「第二のふるさと」とは川根本町だ。」という地元愛が芽生え、もつともつと展開が広がる。そこを理解しないと、この議論はかみ合わない。

**教育総務課長** 保護者や学校等とも相談しながら検討する。



# 一般質問



野口直次 議員

## 問

農家の経営が成り立つため、行政ができることは

答 国・県・町の支援制度で対応したい

◎今後の農家の経営が成り立つために、行政ができること

### 質問

当町としてJ A・関係団体と協力していくつかの経営のパターンと経営の方向性を、今後示すことができないか。

### 町長

農家の皆様は、転機並びに分岐点を迎えていると感じている。個々の農家が知恵を出し、経営努力をしてほしい。町とし

ても各制度を設けているので、活用していただきたい。

### 農林課長

農家それぞれが、経営計画に基づいて営農されていると思うので、一概に町で方向性を示すことは適切ではないと思う。

### 質問

農業に対する町の手厚い助成事業は評価できる反面、今の茶況に合わせた見直しも必要ではないか。

### 農林課長

農業に関する補助制度は、国・県・町の様々な支援制度がある。どのような支援が必要になるのか、担当課に相談してほしい。国・県に問い合わせ、対応できる制度情報を提案できると思う。町単独で対応できる場合もあると思う。

### 質問

収入保険も、茶の共済同様に助成できないか。

### 農林課長

この保険は農作物の主収入の全てを補償する内容であり、掛け金の基盤となる収入金額が確定する時期が年度末になる。また積立金として加入者の預かり金もあり、農業以外の要素も含まれている。よって助成に關しては難しいと考え

### 質問

収入保険も、茶の共済同様に助成できないか。



◎児童生徒の減少の中で小学校の就学について

### 質問

児童生徒の減少の中で、現在は複式学級を行っている学区に居住している児童は、その学区に入学しなければならぬと考えるが、複式学級での就学に不安を感じている町民がいると聞く。町内のほかの小学校に入学する手立てはあるのか。

### 教育総務課長

就学に関しては、「川根本町児童・生徒の就学に関する規則」に基づき対応し、児童生徒の現住所により学校が指定されている。指定された学校を変更する場合は、指定学校変更許可基準が定められており、この基準により許可している。複式学級で就学に不安を感じている方々には、実際に複式の授業を見

ていただき、不安を和らげていただけるよう

対応していきたい。

### 質問

区域外（町外）の就学を避けるためにも、何とか1人でも町内から児童を減らさないように、規則を見直すなど検討をしていただきたい。

### 教育総務課長

規則にのっとって進める必要があると思う。これまで特に複式学級が不安だからという理由での申請は無かった。「あり方協議会」の中で、今後どうするかを踏まえ、まず教育をどうしていきたいかを最優先に考えた上、それに適した学校の配置等を検討していきたい。



農業経営振興会と農林課による意見交換会



# 問

## 安心して歳を重ねていける町に リニア工場の影響、防災対策、医療を問う

# 答

県と一体で、環境維持、閑蔵線整備、ネックレス構想を  
災害時やれることは何でもやる。本川根診療所はめどが！

◎報道で議論激しいリニア、  
わが町の対応は

**質問** 連日激動するリニア議論報道の中、どんな影響が予測されるのか。町はどう対応するのか。

**町長** 下流市町の水がめ長島ダムのある町として、県知事を筆頭に、オール静岡対応を進めており静岡市にも協力を促している。

**質問** エコパークや観光対策への影響は。

**環境課長** 環境破壊が起るとエコパーク認定取り消しもある。環境保全・減水対策確約が必要と考える。

**質問** JR宇野副社長は影響ないとの発言は上流の我町には影響ありと取れる。

**環境課長** 水量変化は県から情報が入る。濁水・水質管理対応を要望していきたい。

**質問** リニア工事の影響で町内の沢枯れなど、水道の取水への影響予測はどうか。

**環境課長** 大井川の支流である沢から取水しているが、工事の影響は無いと考えている。

**質問** 大井川でのレジャー・釣り・観光への影響、また関係機関連携は。

**環境課長** 大井川の濁水対策、水質の管理は重要。県と流域関係市町、漁協関係とも連携し対応したい。

**質問** 連日各方面の議論百出の中、町長の決意は。

**町長** 県知事は、環境対策、水問題など県民の先頭に立ち対応いただいている。南アルプスエメラルドネットワークス構想もあり、これからの県を応援し共に対応していくことが重要と認識している。また以前、新接岨大橋建設にあたり、当時の小嶋市長が、閑蔵線改良を大勢の前で公言、約束したことは忘れない。当然対応をしていただく。

◎町の防災訓練対策を、より現実的に！

**質問** 訓練は最近の災害変化をふまえ、地区に最適な訓練となっているか。

**町長** 夜間訓練、風水害等の想定、地区課題解決の工夫をして対応いただいている。

**質問** 緊急時、町有施設、給食・子育て施設等全てを解放するか。

**総務課長** 一概に言えないが状況での確な判断情報を提供したい。一人暮らし等、把握、緊急支援対応はどうか。

**健康福祉課長** 災害時支援者リスト等整備をし、地区、民生委員とも共有。ケースをふまえ対応していく。

**質問** 停電時、分断された地区への情報伝達手段は。

**総務課長** 情報を屋外拡声アメール、防災行政無線機、衛星携帯電話で各区に伝達する。そのときやれる事は何でもやるという事で情報伝達を図る。避難指示・勧告等発令は人命第一で対応したい。

◎町の医療充実と、川根に医療福祉科を

**質問** 本川根診療所医師招致状況、いやしの里診療所等看護師充実状況は。

**町長** 医師は9割方できる状況。看護師は著しい不足状況ではないが最適な医療体制を慎重検討していく。

**質問** 看護師・福祉人材は好条件募集充実を。

**健康福祉課長** 現段階では、本川根診療所早期再開を図っていく。

**高師者福祉課長** 介護職は、研修補助、教育等に力を注ぎたい。

**質問** 川根高校を守るため力を注いでいるが、町の現状からも、医療・福祉の専門職を養成できる科や大学、専門学校、分校、研究室など町に貢献できる機関併設をすれば町民理解も得やすいが検討研究できないか。

**教育総務課長** 県立校で町は関与できない。



石山貴美夫 議員

## 大間ダム堆砂状況（寸又峡夢の吊橋下）

2018年9月の台風24号の影響で土砂の流入が激しく、吊橋の下まで堆砂が広がり観光客の皆様のイメージと違う風景となり、訪れたお客様に残念な思いをさせていた。

2019年4月に政府要望活動の中で、国土交通省で寸又峡大間ダム堆砂の問題を出したが、重機も入りにくいなどで話が進まなかった。

2019年8月6日に中部電力静岡水力センター川上所長、加納課長の案内で状況説明を受けたときには、梅雨時の影響で水は濁っていたが、吊橋の下の堆砂は無くなり、湖水がほぼ以前の状態に近い広がりを見せていた。

水力センター職員の方の洪水吐<sup>ぼき</sup>ゲート（排砂ゲート）の開閉操作の繰り返しで、堆砂を徐々に減らすことに成功したとのことで、感謝の気持ちとともに頭の下がる思いでした。

洪水吐<sup>ぼき</sup>ゲート（排砂ゲート）の操作内容は、大雨時の洪水を利用しての開放と閉鎖を繰り返して砂利や岩をゲート下へ落とす方法で、5月21日の大雨の際に1回目を行い、以後6月、7月、8月、9月までに12回の効果的な開閉を行った。

9月中頃よりきれいな湖水が戻ってきており、お客様のイメージに近い夢の吊橋に戻ったといえる。11月の紅葉シーズンに向けて準備が整い、中部電力静岡水力センター職員の皆様に、議会だよりを通して感謝の気持ちを伝えたい。

追伸 現在、10月12日の台風19号の影響で濁っているが、堆砂は無かったとの情報を静岡水力センターより頂きました。紅葉シーズンまでに青い湖水に戻ることを祈るばかりです。



2019年1月大間ダム



洪水吐<sup>ぼき</sup>ゲート（排砂ゲート）の確認



輝きを取りもどした夢の吊橋 2019年10月6日

### ◆12月定例会の予定◆

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴におかけください。

12月 2日	月	9:00~	本会議（定例会・初日）
		本会議終了後	議会運営委員会・全員協議会
9日	月	9:00~	本会議（定例会・2日目）
		本会議終了後	議会運営委員会・全員協議会
18日	水	9:00~	本会議（定例会・最終日）

○本会議場は役場本庁3階です。

○日時は変更することもありますので、詳しくは議会事務局（56-2229）までお問い合わせください。

委員長  
副委員長  
委員

（議会広報委員会）

野口 直次  
坂本 政司  
杉山 広充  
澤西 省司  
中原 緑

「わかりやすい議会だより」をめざし、編集に取り組みました。  
今回は、9月定例会（主として決算認定）関連以外に、大間ダム堆砂状況視察調査についても触れました。  
今後も、町民の皆様には「議会だより」を通して、できる限りの情報を提供し、ご愛読いただけるように努めていきたいと思えます。（杉山広充）

編集後記